molten®
From the Inside Out

体位変換付き
高機能エアマットレス **オスカー**

【エアタイプ】

取扱説明書

目　次

○注意事項・・・・・・・・・・・・・・P1
○各部名称・・・・・・・・・・・・・・P2
○設置方法・・・・・・・・・・・・・・P2
○電源コードおよびリモコンコードの収納方法・P4
○リモコン操作および機能説明・・・・P5
○緊急時に体位変換バッグの空気を抜く方法・P10
○セルフチェックモード・・・・・・・P11
○フィルター交換方法・・・・・・・・P12
○停電時の使用・・・・・・・・・・・P12
○収納方法・・・・・・・・・・・・・P13
○運搬・保管方法・・・・・・・・・・P13
○お手入れ方法・・・・・・・・・・・P14
○このようなときには・・・・・・・・P15
○点検チェックシート・・・・・・・・P18
○保証書、仕様・・・・・・・・・・・P19

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害･財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⃠ ：してはいけない「禁止」を意味します。

❗ ：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項

⚠ 警告

①使用中、体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談してください。

②ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。【背上げ】ボタンを押すと約3分でフラットになります。

③安全のため必ずサイドレールを使用してください。

④マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。
音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また思わぬ事故をまねくおそれがあります。

⑤本製品はリプレイスメントタイプ（ベースマットレス不要）です。必ずベッドの上に直接設置してください。

⑥マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。

⑦エアポンプやリモコンに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。

⑧電源プラグは確実にコンセントに接続してください。
感電や火災につながるおそれがあります。

⑨電源プラグを濡らしたり、燃えやすい物を近くに置かないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。

⑩電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。

⑪電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
感電や火災につながるおそれがあります。

⑫タコ足配線はしないでください。
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。

⑬エアポンプやリモコンの改造はしないでください。
発火や異常動作などにより事故やケガをするおそれがあります。

⑭熱い物の近くに置かないでください。
火災･変形･破損につながるおそれがあります。

⑮長期間使用しない場合やエアポンプをお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから外してください。
感電･火災･故障の原因になります。

⑯本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。

⑰サイドレールはマットレス上面より22cm以上高さがある物をご使用ください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。

⚠ 注意

①オスカーのマットレスとエアポンプに他の製品を組み合わせて使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。【ハイブリッドタイプ】と【エアタイプ】は互換性がありません。

②リモコン操作は、介護者が行ってください。

注意

①リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
断線するおそれがあります。

②リモコンを寝具の中に入れたり、暖房器具に近づけたりしないでください。
リモコンには温度センサーが内蔵されており、ひえ対策が機能しなくなるおそれがあります。

③浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ･カビの発生や故障の原因になります。

④マットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
エアポンプやリモコンの故障や損傷、寿命低下の原因になります。

⑤マットレスの上や下に突起物を置かないでください。
マットカバーの破れなどの原因になります。

注意事項

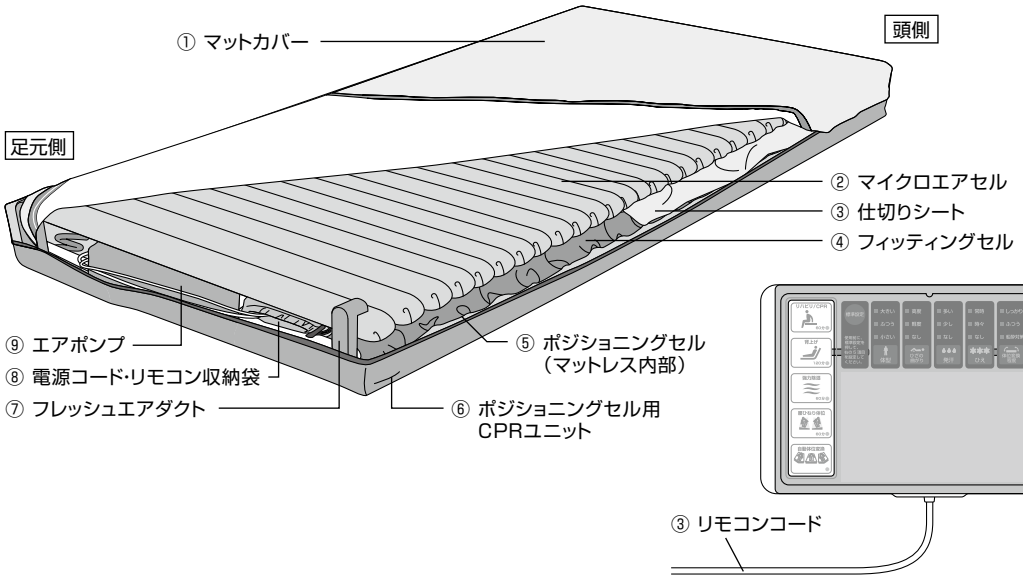
⑥メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
空気漏れなどの原因になります。

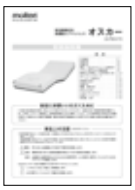
⑦マットレスへの荷重は150kgまでです。
150kgを超えると、マットレスの破損や故障の原因になります。

⑧マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンを収納袋に入れてマットレス内におさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障するおそれがあります。

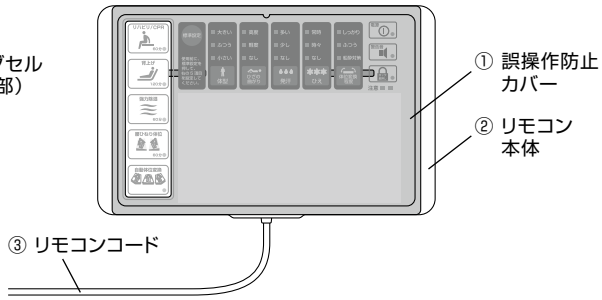
各部名称

以下の部品が全てそろっているか、破損･変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足･破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



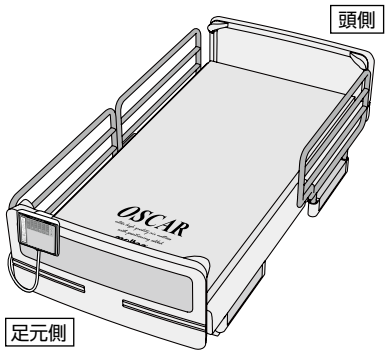


取扱説明書兼
保証書：1部



設置方法

1 マットレス（エアポンプ内蔵）を設置します。



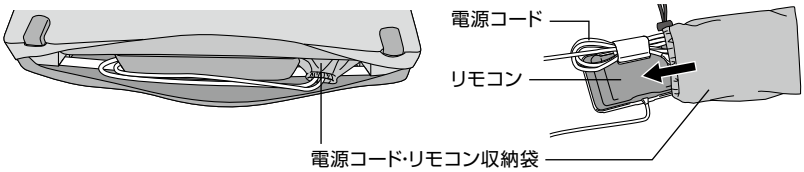
ベッドの上に直接マットレスを置いてください。

⚠ 警告

①安全のため必ずサイドレールを使用してください。
②マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また思わぬ事故をまねくおそれがあります。
③本製品はリプレイスメントタイプ（ベースマットレス不要）です。必ずベッドの上に直接設置してください。
④マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。

2 電源コードとリモコンを電源コード･リモコン収納袋から取り出します。

①マットカバーを開いて電源コード･リモコン収納袋から電源コードとリモコンを取り出してください。
取り出した後、電源コード･リモコン収納袋はマットカバー内に入れてください。

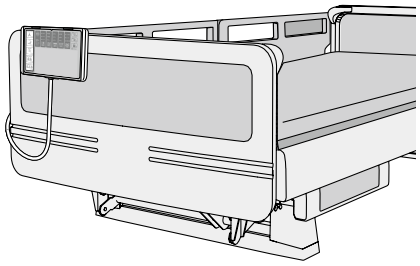


※電源コード･リモコン収納袋の口を絞る「ひも」がマットカバー内のホースに結ばれています。
紛失しないためにも「ひも」をほどかないでください。

②電源コードとリモコンを取り出した後、マットカバーを閉めてください。

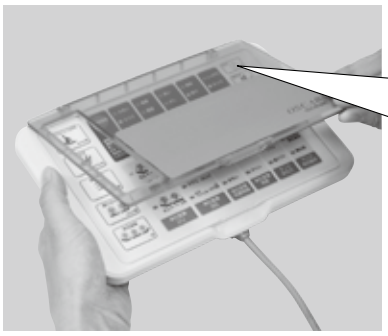
3 リモコンをフットボードに掛けます。

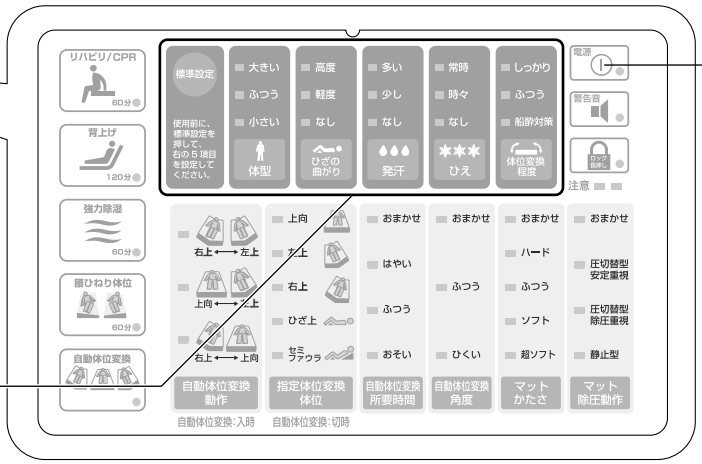
リモコン上部の吊り下げフックを、ベッドのフットボードに掛けてください。



注意 リモコンを寝具の中に入れたり、暖房器具に近づけたりしないでください。リモコンには温度センサーが内蔵されており、ひえ対策が機能しなくなるおそれがあります。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。





① 電源ボタン

② アセスメント&フィッティングモード

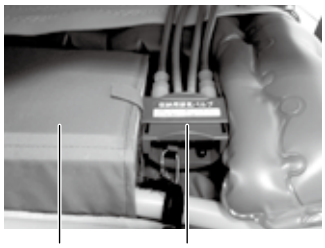
①電源プラグをコンセントに差し込み、リモコン上面の誤操作防止カバーを開き、電源ボタンを押してください。
②リモコンの「標準設定」ボタンを押し、利用者様の身体状態を確認して5つの項目を入力してください。
マットレスを最適な状態に自動設定します。(アセスメント&フィッティングモード)

※詳しい設定方法はP6を参照してください。
※マイクロエアセルとフィッティングセルは約30分で空気がいっぱいになります。

ⓘ 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

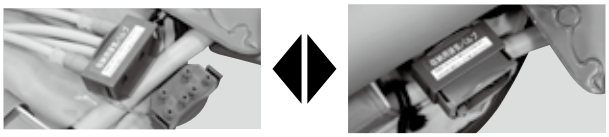
⚠ 注意

①収納用排気バルブを閉めてください。



収納用排気バルブが開いているとエアセルに空気が入らず注意ランプが点滅します。

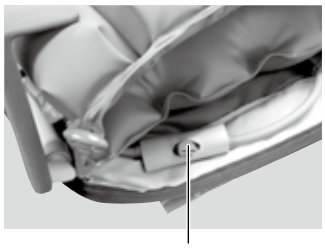
ⓘ「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
⃠ 使用中は絶対に開かないでください。



設置方法

⚠ 注意

②停電時対策バルブを開いてください。



閉じたままご使用になると、エアセルに空気が入らず注意ランプが点滅します。

ⓘ このバルブは、3時間以上停電となる場合のみ閉じてください。

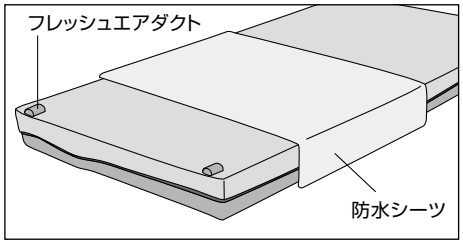
【閉じた状態】

【開いた状態】

5 シーツを取り付けて完成です。

基準シーツ ……フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端をしっかりと巻き込んでください。
ボックスシーツ……フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。
防水シーツ……フレッシュエアダクトを覆わないように取り付けてください。
フレッシュエアダクトから空気が出ず、送風機能が発揮されません。

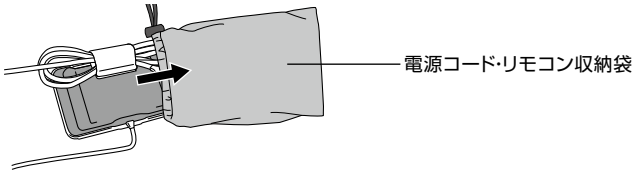
【防水シーツの場合】



フレッシュエアダクトを覆わないでください。

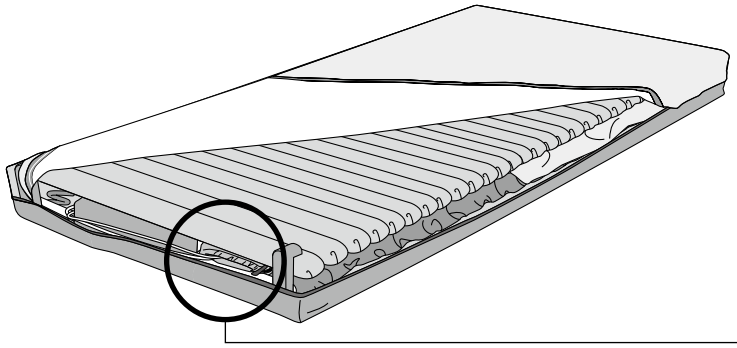
電源コードおよびリモコンコードの収納方法（長期間使用しない場合）

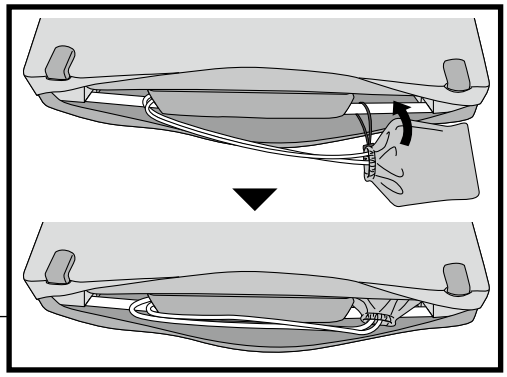
①電源コードとリモコンを電源コード･リモコン収納袋におさめてください。



②マットカバーを開いて電源コード･リモコン収納袋をマットレス内におさめてください。

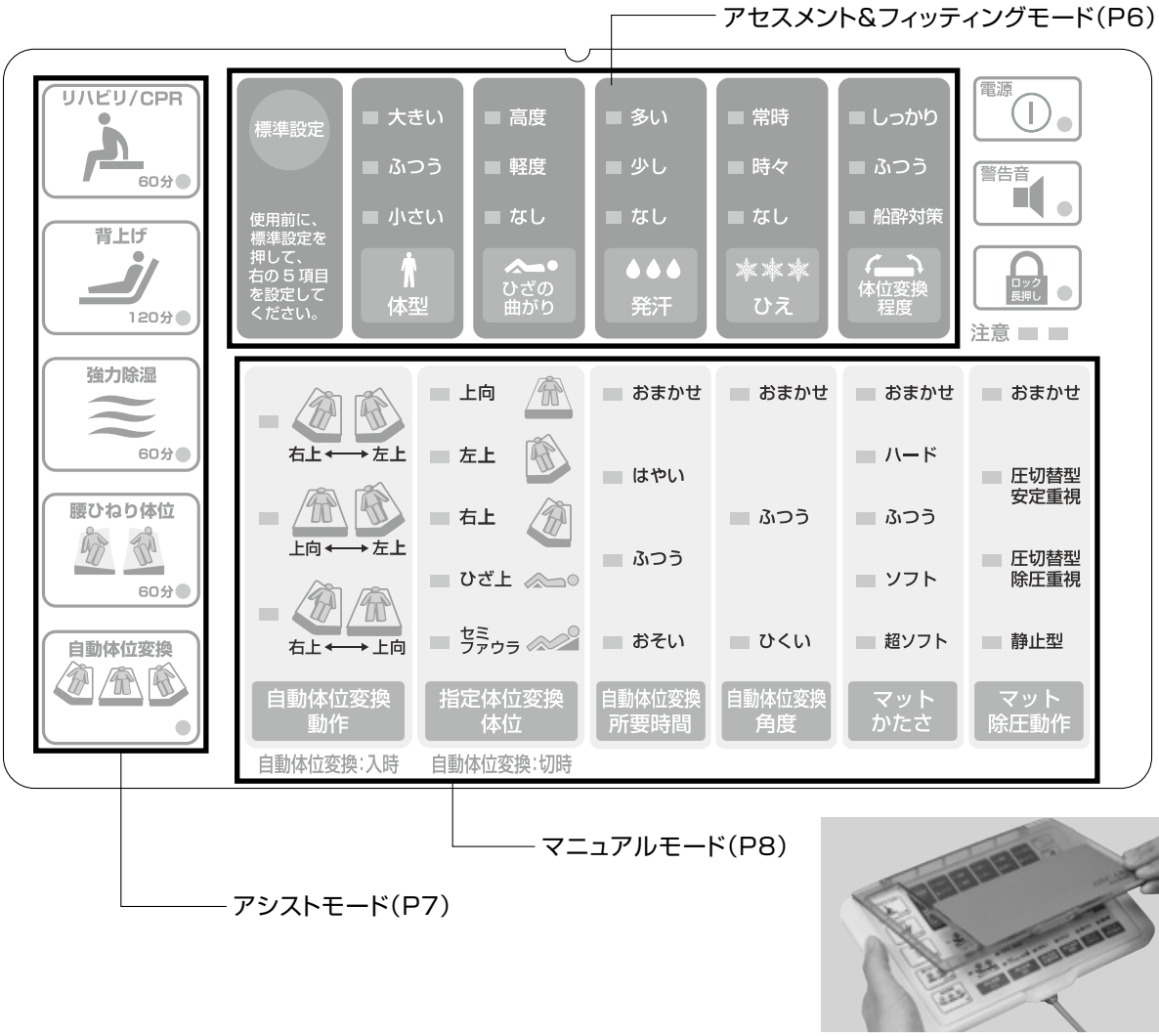
※マットカバー内のホースに結ばれている電源コード･リモコン収納袋の口を絞る「ひも」はほどかないでください。

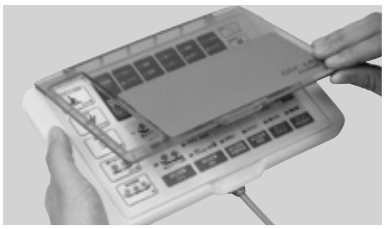




③マットカバーを閉めて、収納完了です。

リモコン操作および機能説明



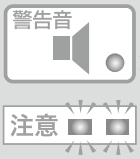


使い始めの設定

電源

電源ボタンを押すと電源が入り、ランプが点灯します。
もう一度押すと電源は切れます。
※再度電源を入れ直した場合は前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態になります。

注意ランプと警告音



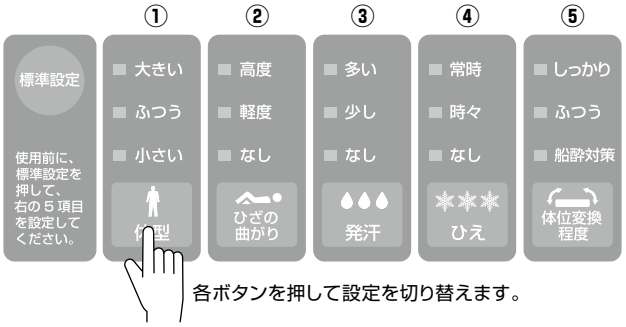
マットとポンプの異常をランプの点滅と警告音でお知らせします。
・警告音【入】後、操作音がして警告音がオンになります。

操作ロック

認知症の人などによる誤操作を防止するために、リモコンのボタン操作ができないようにロックすることができます。
・ボタンを3秒程度長押しするとロックの設定･解除ができます。

アセスメント&フィッティングモード

リモコンの「標準設定」ボタンを押し、利用者様の①「体型」②「ひざの曲がり」③「発汗」④「ひえ」⑤「体位変換程度」の5つの項目を入力してください。機械（エアマットレス）が自動で利用者様の身体状況に合った条件を判定します。



身体状況の入力

判定結果を入力すると自動的に最適な条件を設定してマットを制御します。

項目	条件設定	判定結果
標準設定	——	全ての項目（マニュアルモード含む）が標準的な利用者様の設定になります。
① 体型	【大きい】	大柄な人、太めの人。（BMI：25以上）
	【ふつう】	ふつうの体型の人。（BMI：18.5以上25未満）
	【小さい】	小柄な人、やせの人。（BMI：18.5未満）

「自動体位変換角度」と「マットかたさ」を利用者様の体型に合わせて自動調整します。

		身長毎の体重目安				
体　型	判定基準	140cm	150cm	160cm	170cm	180cm
【大きい】	BMI：25以上	49kg以上	56kg以上	64kg以上	72kg以上	81kg以上
【ふつう】	BMI：18.5～25	36～49kg	42～56kg	47～64kg	53～72kg	60～81kg
【小さい】	BMI：18.5未満	36kg未満	42kg未満	47kg未満	53kg未満	60kg未満

② ひざの曲がり	【高度】	ひざがかなり曲がっている人。※**下肢は体位変換しません。※必ずひざ下にクッションを入れてください。**
	【軽度】	ひざがやや曲がっている人。※**常にひざ上げの状態になります。**
	【なし】	ひざが曲がっていない人。※**通常の体位変換動作（下肢～上体）をします。**
③ 発汗	【多い】	常に寝床内がむれる場合。（送風機能【30分ON→30分OFF】の繰り返しになります）
	【少し】	時々寝床内がむれる場合。（送風機能【15分ON→30分OFF】の繰り返しになります）
	【なし】	特に寝床内がむれていない場合。（送風機能は作動しません）
④ ひえ	【常時】	常にひえ対策が必要な場合。（寝床内を「32℃」程度に維持します）
	【時々】	室温が低い時にひえ対策が必要な場合。（室温が15℃以下のときのみ32℃程度を維持します）
	【なし】	ひえ対策が不要な場合。（ヒーター機能は作動しません。）
⑤ 体位変換程度	【しっかり】	自動体位変換の動き（角度や速さ）をしっかりと行いたい場合。（体位変換角度:ふつう〈16度〉、体位変換所要時間:はやい〈45分〉）
	【ふつう】	通常はこの設定にします。（体位変換角度:ふつう〈16度〉、体位変換所要時間:ふつう〈60分〉）
	【船酔い対策】	体位変換の動きを抑えたい場合。（体位変換角度:ひくい〈8度〉、体位変換所要時間:おそい〈75分〉）

⚠警告　使用中、体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師や看護師、福祉用具専門員などの専門の方に相談してください。

⚠注意　利用者様の身体状況を確認し、5つの項目を全て入力してください。

アシストモード

各ボタンを押すだけで、リハビリや背上げなどのケアしやすい状態に設定することができます。

リハビリ／CPR

ベッド上でのリハビリやおむつ交換など、マットレスのふわふわ感を解消して安定感が必要な時に使用します。
【入】後、約2分程度でマットレスがかたく安定します。体位変換実施時はフラットになります。
・【入】後、60分でもとのマットレスの状態に戻ります。　・【切】後、約5分間圧抜き動作が作動します。

●体位変換実施時はフラットになります。
※上向きの状態になるまで約3分かかります。
●マット除圧動作は【静止型】になります。
●マットかたさは【ハード】よりさらにかたくなります。
※アシストボタンによる設定内容はマニュアルモードには反映されません。
アシストボタンを押す前の設定表示のままです。

背上げ

食事やその他ケアなど、ベッドで長時間背上げをした姿勢を保つ場合に使用します。
体位変換実施時はフラットになります。
・【入】後、120分でもとのマットレスの状態に戻ります。
・【入】後、約10分間背抜き動作（背中にかかる苦しさを緩和）が作動します。
・【切】後、約5分間圧抜き動作（背中にかかる苦しさを緩和）が作動します。

●体位変換実施時はフラットになります。
※上向きの状態になるまで約3分かかります。
※アシストボタンによる設定内容はマニュアルモードには反映されません。アシストボタンを押す前の設定表示のままです。

> ⚠ 注意　2時間以上背上げをする場合は、途中で再度「背上げ」ボタンを押してください。オートオフ機能が働き、2時間でもとのマットレスの状態に戻ってしまいます。

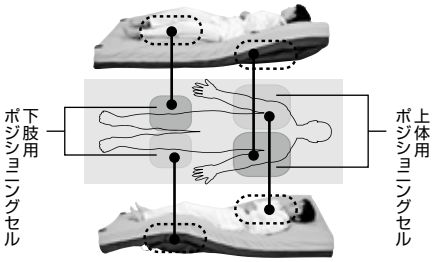
強力除湿

入浴や清拭などで寝床内が通常よりも高い湿潤状態になる場合に使用します。
通常設定では動く･止まるの断続運転ですが、強力除湿は連続運転で送風をします。
・【入】後、60分でもとのむれ設定の状態に戻ります。

> ⚠ 注意　「強力除湿」「発汗」を使用する場合は、P4の設置方法を参考にしてシーツを取り付けてください。
> ※アシストボタンによる設定内容はマニュアルモードには反映されません。アシストボタンを押す前の設定表示のままです。

腰ひねり体位

利用者様の「腰痛の対策」や「内臓機能の維持･改善」の一環として、腰をひねる体位変換を行います。
下肢用と上体用のポジショニングセルで互い違いに身体を変換することで、「腰ひねり体位」にします。
60分間で「右向き」、「左向き」を各1回ずつ行います。
・【入】後、60分でもとのマットレスの状態に戻ります。



体位変換

昼間は人手での体位変換を行い夜間はマットレスによる自動体位変換を行う場合など、状況に合わせてマットレスによる自動体位変換が必要なときに使用します。

> ⚠ 警告　ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。
> ※サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。【背上げ】ボタンを押すと約3分でフラットになります。

マニュアルモード　※設定変更が必要な場合のみ操作してください。

アセスメント&フィッティングモードでの自動設定ではなく、「自動体位変換動作」「指定体位変換体位」「自動体位変換所要時間」「自動体位変換角度」「マットかたさ」「マットの除圧動作」の各項目を手動で設定することができます。

(1)自動体位変換 動作：3種類
(2)指定体位変換 体位：5種類
(3)自動体位変換 所要時間：3段階
(4)自動体位変換 角度：2段階
(5)マット かたさ：4段階
(6)マット 除圧動作：3種類

(1)自動体位変換動作

体位変換の「動作(パターン)」を手動で設定します。傾く方向は利用者様側から見た方向になります。

動作は【右上】⇔【上向】⇔【左上】の3体位変換を繰り返し行います。
※【右上】から体位変換をはじめます。

動作は【上向】⇔【左上】の2体位変換を繰り返し行います。

動作は【右上】⇔【上向】の2体位変換を繰り返し行います。

※「ひざの曲り」が【軽度】の場合は、自動体位変換の設定をしなくても、ひざは常に上がった状態になります。【高度】の場合は、自動体位変換の設定をしても、ひざは下がったままとなります。

(2)指定体位変換体位

仰臥位や左右の側臥位だけではなく、「セミファウラー位」「ひざ上げ」に対応し、おむつ交換や口腔ケア、安楽姿勢など、目的に合わせて指定の体位変換を行うことができます。

常に上向きの状態になります。

常に左上げの状態になります。(16度)

常に右上げの状態になります。(16度)

常にひざ上げの状態になります。(16度)

常にセミファウラー位で安楽姿勢の状態になります。(背・ひざともに16度)

※「ひざの曲がり」が【軽度】の場合は、自動体位変換の設定をしなくても、ひざは常に上がった状態になります。【高度】の場合は、自動体位変換の設定をしても、ひざは下がったままとなります。

⚠ 警告　ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。
※サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。【背上げ】ボタンを押すと約3分でフラットになります。

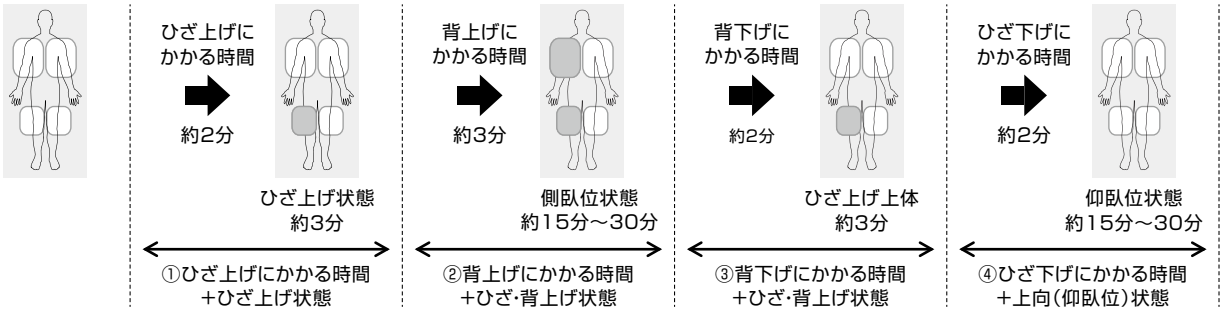
(3)自動体位変換所要時間

1回の体位変換にかかる時間の設定を行います。
※利用者様の体重や体型などにより多少時間の変動があります。

おまかせ	アセスメント&フィッティングモードで設定中にランプが点灯します。 自動的に最適な自動体位変換所要時間で動作します。
はやい	1回の体位変換にかかる時間※が約45分となります。
ふつう	1回の体位変換にかかる時間※が約60分となります。
おそい	1回の体位変換にかかる時間※が約75分となります。

●自動体位変換の動きと所要時間

：膨らむセル



設定	①	②	③	④	①～④の合計
はやい	5分	18分	5分	17分	45分
ふつう	5分	25分	5分	25分	60分
おそい	5分	33分	5分	32分	75分

※条件により、若干変動があります。
※左記の時間は【上向】⇔【右上】もしくは【上向】⇔【左上】にかかる時間です。【右上】⇔【左上】の体位変換にかかる時間は、【上向】⇔【右上】と【上向】⇔【左上】を合わせた時間となるため、【はやい／90分】【ふつう／120分】【おそい／150分】となります。

(4)自動体位変換角度

体位変換角度の設定を行います。

おまかせ	アセスメント&フィッティングモードで設定中にランプが点灯します。 自動的に最適な体位変換角度で動作します。
ふつう	傾き角度は約16度程度となります。
ひくい	傾き角度は約8度程度となります。

(5)マットかたさ

マットかたさの設定を行います。

おまかせ	アセスメント&フィッティングモードと連動してランプが点灯します。
ハード	離床やリハビリで安定感が必要な方、やわらかすぎるマットレスが合わない方などは こちらを選択してください。

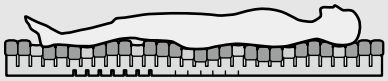
リモコン操作および機能説明

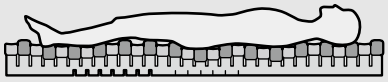
ふつう	各種臥位において低圧で体を保持します。床ずれ発生リスクが低い方はこちらを選択してください。
ソフト	ふつうよりもさらに低圧で体を保持します。 床ずれ発生リスク度が高い方や、床ずれのある方などはこちらを選択してください。
超ソフト	ソフトよりさらに低圧で体を保持します。難治性床ずれの方、ICUや手術後、終末期ケアなどで体位変換やベッドの背上げができない方、絶対安静の方などはこちらを選択してください。

(6)マット除圧動作

マット除圧動作の設定を行います。

おまかせ	アセスメント&フィッティングモードと連動してランプが点灯します。 自動的に最適な除圧動作となります。
圧切替型 安定重視	身体の75%をマイクロエアセルで支え、残りの25%で除圧を行います。 安定感を重視したい、なるべく圧切替の動きを抑えたいという方はこちらを選択してください。 ※オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。
圧切替型 除圧重視	身体の50%をマイクロエアセルで支え、残りの50%で除圧を行います。 絶対安静時など体位変換が行えない場合で、せめて圧切替だけでもしっかりと行いたい方はこちらを選択してください。
静止型	除圧動作をせず、マイクロエアセル全体が均等なかたさとなります。 除圧動作が気になる方はこちらを選択してください。



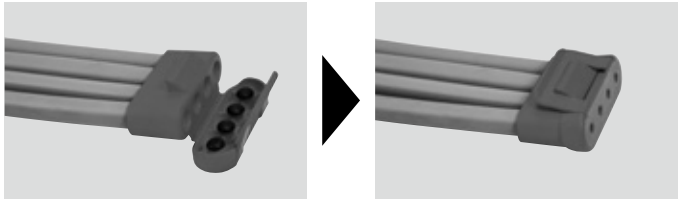


緊急時に体位変換バッグ(ポジショニングセル)の空気を抜く方法

体位変換中に心臓マッサージなど緊急にマットレスをフラットにする必要がある場合または体位変換中に停電になった場合は、以下の方法でポジショニングセルの空気をすばやく抜くことができます。

足元左側のシーツをめくり、CPR表示ラベルそばにある赤いCPRカプラを、取っ手を持って開けてください。
約20秒で空気が抜けます。

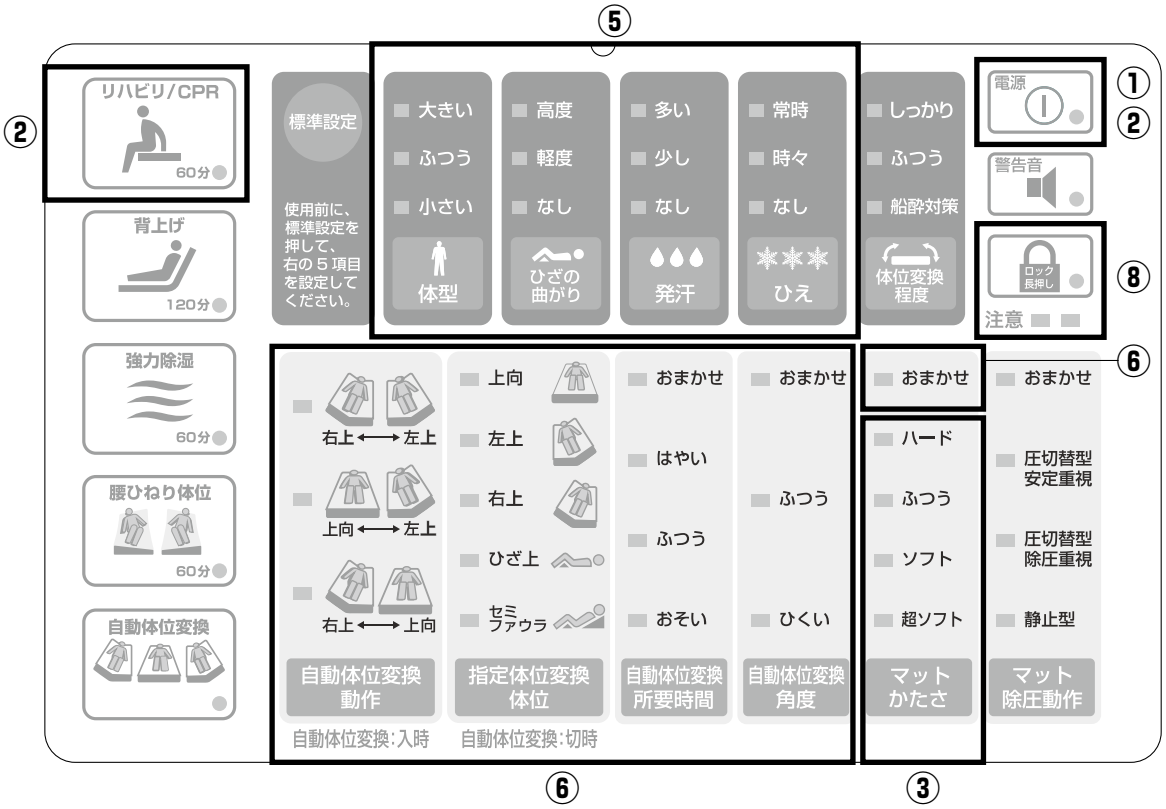
再度使用する場合は、「カチッ」と音がするまで
閉めてください。



セルフチェックモード

簡単な定期点検として、リモコンの所定ボタンを押すと、各部（空気漏れ、ヒーター、各種センサーなど）の点検を自動で行います。（所要時間:約75分）

注意　セルフチェックを行う場合は、ベッド・マットレス共にフラットにし、利用者様が寝ていない状態で行ってください。



操作方法とチェック内容

①電源をオフにします。

②［リハビリ/CPR］ボタンを押しながら、［電源］ボタンを押します。

注意 ■ ■ のLEDが点滅し、セルフチェックモードがスタートします。

③最初にエアポンプのチェックを行います。チェック中は［マットかたさ］のハードから超ソフトまで順にLEDランプが点灯します。

※③で異常がある場合は、その箇所の表示ボタンが点滅し、そこでセルフチェックは終了となります。

④次にエアマットの空気漏れチェックを行います。

⑤チェック中は［体型］▶［ひざの曲がり］▶［発汗］▶［ひえ］の順にLEDランプが点灯します。

⑥次にマットかたさの ■ おまかせ のLEDランプが点灯します。

続いて［自動体位変換動作］▶［指定体位変換体位］▶［自動体位変換所要時間］▶［自動体位変換角度］の順にLEDランプが点灯します。

⑧すべてのチェックで異常が無い場合、［ロック長押し］ボタンのLEDが点滅し、注意 ■ ■ ランプは2個とも点灯した状態になります。（［電源］ボタンと［リハビリ/CPR］ボタンのLEDは点滅したままになります）

※④以降で異常がある場合は、異常がある部位の表示だけ点滅したまま次の表示へと切り替わります。

⑩セルフチェックを中止、終了する場合は、電源をオフにします。

※セルフチェック後にポジショニングセルの空気が残る場合がありますので、ポジショニングセル緊急エア抜き用の赤いCPRカプラを開き、空気を抜いてください。（P10参照）

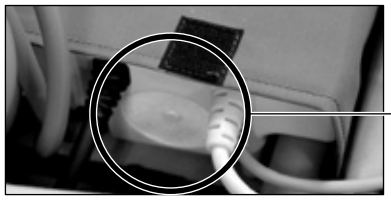
セルフチェックモード

異常時のLED点滅箇所と不具合の内容

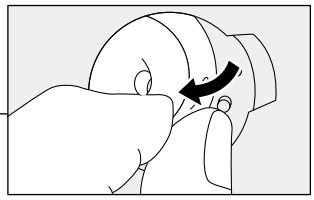
表示ボタン	LED表示	不具合内容
マットかたさ	ハード	内蔵モーターなどの異常
	ふつう	
	ソフト	内蔵エアポンプなどの異常
	超ソフト	ヒーターの異常
	おまかせ	フィッティングセルの空気漏れ
体型	大きい	マイクロエアセルやエアホースの空気漏れ
ひざの曲がり	高度	
発汗	多い	
ひえ	常時	
自動体位変換動作	右上･左上	上体用右側ポジショニングセルやホースの空気漏れ
指定体位変換体位	上向	下肢用右側ポジショニングセルやホースの空気漏れ
自動体位変換所要時間	おまかせ	上体用左側ポジショニングセルやホースの空気漏れ
自動体位変換角度	おまかせ	下肢用左側ポジショニングセルやホースの空気漏れ

フィルター交換方法

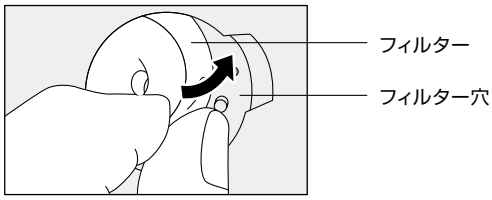
汚れがひどい場合は、新品と交換してください。
汚れが少ない場合は、掃除機やエアガンなどで汚れを取り除き再使用することができます。



①マットカバーを開き、
エアポンプが見えるようにします。



②フィルターの端をつまみ、
取り外します。

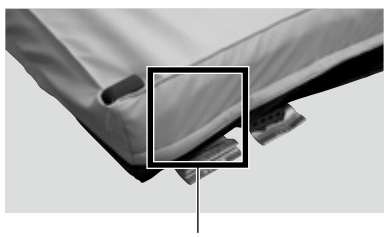


③新しいフィルターを
フィルター穴に取り付けます。

> ⚠ **注意**　必ず専用のフィルターを使用してください。
> ※専用フィルターに関しては販売店にご相談ください。

停電時の使用

3時間以上停電となる場合は、マットカバーを開き、停電時対策バルブを閉じてください。
体重･体型にもよりますが、停電後2週間程度は空気を維持する事ができ、底着きを防止できます。



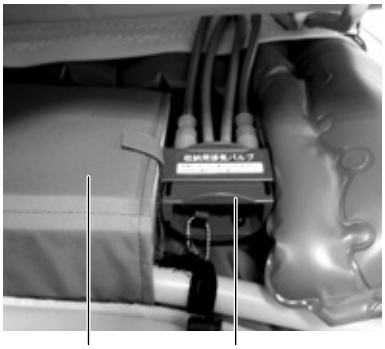
停電時対策バルブ位置（マットカバー内）

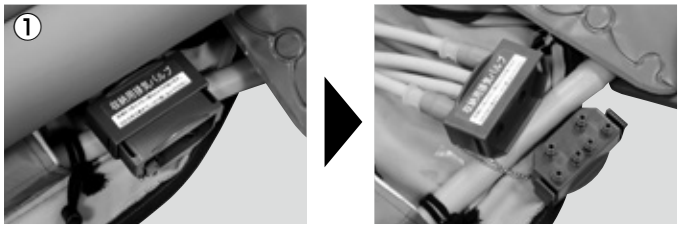
停電復旧後は必ず停電時対策バルブを開いてください。
（正常に動作しているかを確認してください）

【停電時対策バルブが開いている状態】

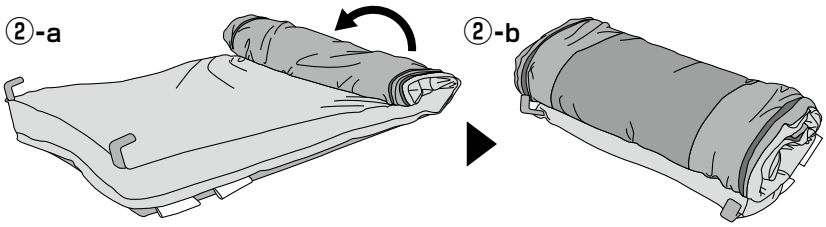
【停電時対策バルブが閉じている状態】

収納方法





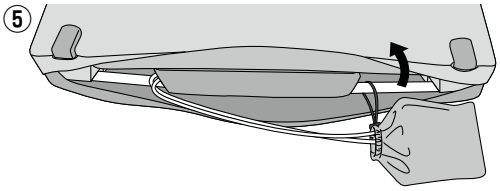
①エアポンプの右側にある収納用排気バルブを開いてください。



②空気が半分以上抜けたら、マットレスを頭側からカバーごと丸めてたたみ、空気を抜きます。
（右図②-bより小さく折りたたまないでください。エアホースなどが折れるおそれがあります）

③マットレスをたたみ終わったら、収納用排気バルブを必ず閉じてください。

④電源コードとリモコンを電源コード･リモコン収納袋におさめてください。（P4参照）



⑤マットカバーを開いて、電源コード･リモコン収納袋をおさめてください。（P4参照）

運搬・保管方法

運搬する場合は、右図のように取っ手を持ってください。

頭側から見てマットレス左側にあるタグが上に向くように持ち上げ、
足元側裏面にある取っ手を持って運搬します。

注意	浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。 ※サビ･カビの発生や故障の原因になります。

⃠ 内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。

⃠ エアホースが抜けるおそれがあるので、マットカバー裏側にあるエアホースを持って運搬しないでください。

⃠ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。

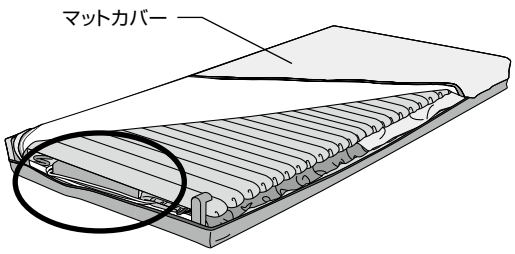
① 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

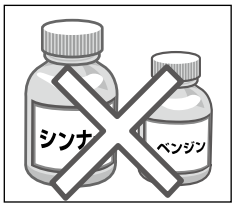
① 電源コードとリモコンを電源コード･リモコン収納袋に入れてマットレス内におさめてください。

お手入れ方法

汚れの落としかた

汚れが少ない場合は、マットカバー表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。
汚れがひどい場合は、マットカバーを取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。
洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。

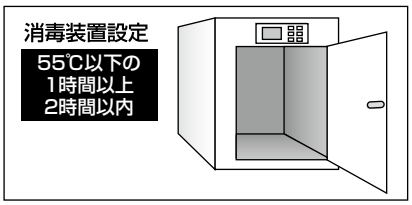




- ⃠ マイクロエアセル･フィッティングセル･ポジショニングセル･エアポンプ･リモコンなどの内部構成部品は洗浄しないでください。
- ⃠ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ⃠ 酸性洗剤は素材を痛めるおそれがあるので使用しないでください。
- ⃠ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。
- ⃠ マットカバーが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。
- ⓘ マットカバーを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。
- ⓘ マットカバーを洗浄･乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下で行ってください。
- ⓘ 塩素系洗剤を使用する場合は、変色するおそれがあるので200～300倍に薄めて使用してください。

消毒のしかた

消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。
消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でオモテ面を上にして装置に入れてください。温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。
装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードとリモコンは電源コード･リモコン収納袋に入れマットカバー内におさめてください。



- ⃠ マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。
- ⃠ マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒は行わないでください。

お手入れ後の保管

- ⃠ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ⓘ 電源コードとリモコンを電源コード･リモコン収納袋に入れてマットレス内におさめてください。
- ⓘ カビなどが発生するおそれがあるので、汚れを取り除き、よく乾燥させてから保管してください。
- ⓘ 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光に当たらない場所で保管してください。

このようなときには

現　象	確認方法	処　置
マットレスが膨らまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれて いますか?	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの 電源ボタンを押してください。(P3参照)
	エアホースが外れていませんか?	エアポンプおよびエアマットレスをつなぐエアホースを 確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか?	エアホースを交換してください。
	かたさ設定が【超ソフト】【ソフト】になって いませんか?	リモコンでかたさを【ふつう】または【ハード】に設定して ください。(P9、P10参照)
	収納用排気バルブが開いていませんか?	収納用排気バルブを閉じてください。(P3参照)
マットレスがかたすぎる	リハビリモードを設定していませんか?	リハビリモードを解除してください。(P7参照)
	背上げモードを設定していませんか?	背上げモードを解除してください。(P7参照)
	かたさ設定が【ハード】になっていませんか?	かたさを【ふつう】または【ソフト】など、柔らかいモードに 設定してください。(P9、P10参照)
エアポンプの音がうるさい	足元側の下にかたい物を置いていませんか?	マットレスの下からかたい物を取り除いてください。
リモコン操作が できない	操作ロックを設定していませんか?	操作ロックを解除してください。(P5参照)
	リモコンのランプが消えていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの 電源ボタンを押してください。(P3参照)
寝床内が寒い	ひえ設定が【なし】になっていませんか?	ひえ設定を【時々】または【常時】に設定して ください。(P6参照)
	リモコンが寝具の中に入っていませんか?	寝具の中から取り出し、フットボードに掛けてください。 (P3参照)
	リモコンの近くに暖房器具はありませんか?	暖房器具をリモコンから離してください。(P3参照)
	リモコンの注意ランプと【ひえ】設定の ランプが同時に点滅していませんか?	お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業部 お客様窓口までご相談ください。
	発汗設定が【少し】または【多い】に なっていませんか?	発汗設定を【なし】に設定してください。(P6参照)
寝床内が暑い	ひえ設定が【時々】または【常時】に なっていませんか?	ひえ設定を【なし】に設定してください。(P6参照)
	発汗設定が【なし】になっていませんか?	発汗設定を【少し】または【多い】に設定してください。 (P6参照)
	フレッシュエアダクトのエアホースが カバーの中で外れていませんか?	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シーツなど 通気性がない物をかぶせていませんか?	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、 通気性のある物を使用してください。(P4参照)
ポジショニングセルが 膨らまない	CPRカプラが開いていませんか?	CRPカプラを閉じてください。(P10参照)
	エアホースが折れたり抜けたりして いませんか?	お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業部 お客様窓口までご相談ください。

注意ランプが交互点滅する場合

注意ランプが交互点滅する場合は、空気漏れや空気の流れに不具合がある可能性があります。
このようなときには、以下の項目を確認してください。

●注意ランプだけが交互点滅する場合

確認箇所	現　象	処　置
マイクロエアセル	エアセルの一部から 空気が漏れていませんか?	空気漏れしている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形していませんか?	変形している場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの間のスリットに 亀裂がありませんか?	亀裂がある場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	マイクロエアセルやエアポンプの エアホースに抜けがありませんか?	エアホースを差し直してください。
	マイクロエアセルにつながっている エアホースが折れ曲がっていませんか?	折れ曲がっている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか?	フィルターを交換してください。(P12参照)
エアポンプ	エアポンプの中から空気が漏れる音が 1分以上聞こえますか?	エアポンプの内部に問題がある場合、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
収納用排気バルブ	収納用排気バルブが開いていませんか?	収納用排気バルブを閉じてください。(P3参照)

●注意ランプが交互点滅し、「自動体位変換動作」と「指定体位変換体位」のランプが同時点滅している場合

確認箇所	現　象	処　置
ポジショニングセル	ポジショニングセルの一部から 空気が漏れていませんか?	空気漏れしている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	ポジショニングセルにつながっている エアホースが抜けていませんか?	エアホースを差し直してください。
	ポジショニングセルにつながっている エアホースが折れ曲がっていませんか?	折れ曲がっている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
CPRカプラ	CPRカプラが開いていませんか?	CPRカプラを閉じてください。(P10参照)

●注意ランプが交互点滅し、「自動体位変換角度【低い】」のランプが点滅している場合

確認箇所	現　象	処　置
停電時対策バルブ	停電時対策バルブが閉じていませんか?	停電時対策バルブを開いてください。(P4参照)

冬季などに室温が低い場合は、エアポンプの空気流量･圧力が低くなり注意ランプが作動することがありますが、これは内臓ポンプのゴム部品がひえたために発生する現象で故障ではありません。
電源スイッチを再度入れ直し10分以上動作させてください。

注意ランプが同時点滅する場合

注意ランプが同時点滅する場合は、エアポンプの内部に不具合がある可能性があります。
お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業部お客様窓口まで修理に出してください。

ランプの状態	不具合箇所
注意ランプ+マットかたさ【ソフト】が同時点滅	圧力センサーとエアポンプの異常
注意ランプ+マットかたさ【ハード】が同時点滅	フォトセンサーとモーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】が同時点滅	ヒーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】+「ひえ」の設定箇所が同時点滅	
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】+「ひえ」設定ランプが順番に点滅	
注意ランプ+マット除圧動作設定箇所のランプが順番に点滅	マイコン関係のエラー

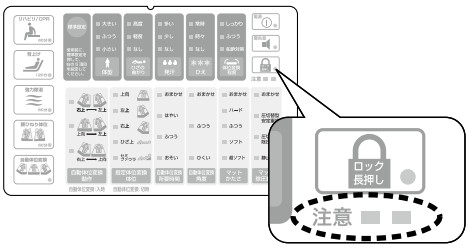
上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合はお求めの販売店または
㈱モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)842-9975

●モニタリングの場合などに行う点検要領

1.動作の点検

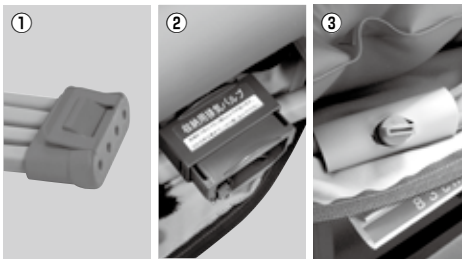
1 注意ランプの動作



結果：異常あり / 異常なし

注意ランプが点滅していないことを確認します。

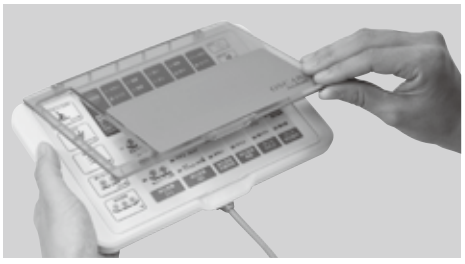
2 CPRカプラ・収納用排気バルブ・停電時対策バルブ



結果：異常あり / 異常なし

①CPRカプラが閉じているか点検します。
②排気用バルブが閉じているか点検します。
③停電時対策バルブが開いているか点検します。

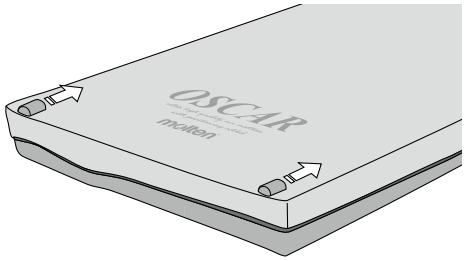
3 リモコンの動作



結果：異常あり / 異常なし

リモコン各部の動作、スイッチの異常などを点検します。
異常ありの場合は、修理に出してください。

4 むれ対策の動作

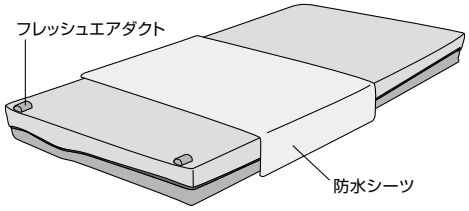


結果：異常あり / 異常なし

「発汗」ボタン（【多い】）を押し、足元側のエアダクトから空気が出てくるか確認します。

2.本体各部の点検

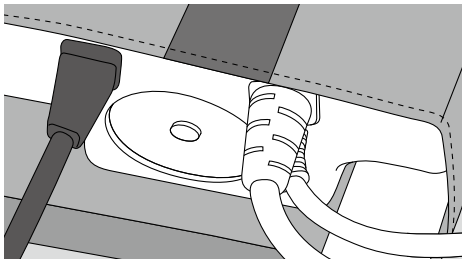
5 フレッシュエアダクト部分の点検



結果：異常あり / 異常なし

フレッシュエアダクトが防水シーツやパッドなどで隠れていないか点検します。隠れていると空気が寝具内に入らなくなる可能性があります。
なお、綿シーツなど通気性のあるものはダクトにかぶせてください。

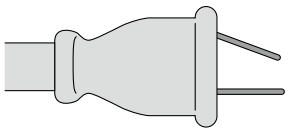
6 フィルターの汚れ



結果：異常あり / 異常なし

フィルター取付部のフィルター汚れを点検します。
汚れがあれば清掃または交換します。

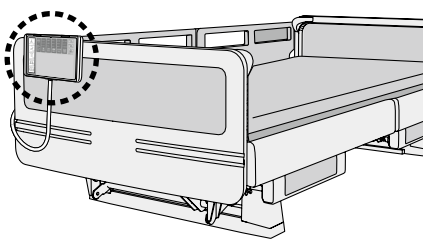
7 リモコンコードと電源コード



結果：異常あり / 異常なし

コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。
異常ありの場合は、修理に出してください。

8 リモコン設置場所の点検



結果：異常あり / 異常なし

リモコンには**室内温度センサーが内蔵**されています。
寝具の中や冷暖房器具の近くに置いてあるとヒーターの温度が適正に制御されない可能性があるので、フットボードまたはサイドレールに掛けてあるか確認します。

※エアホースなどの折れや外れがないか点検してください。

仕 様

オスカー(エアタイプ)

品番　MOSC83A(83cm幅レギュラーサイズ)／MOSC91A(91cm幅レギュラーサイズ)
MOSC83SA(83cm幅ショートサイズ)／MOSC91SA(91cm幅ショートサイズ)

●素　材　マットカバー：ウレタン合皮
エアセル：ウレタンフィルム

83cm幅レギュラーサイズ	サイズ：幅83×長さ193×厚さ17cm	重　量：10.0kg
91cm幅レギュラーサイズ	サイズ：幅91×長さ193×厚さ17cm	重　量：11.5kg
83cm幅ショートサイズ	サイズ：幅83×長さ182×厚さ17cm	重　量：9.5kg
91cm幅ショートサイズ	サイズ：幅91×長さ182×厚さ17cm	重　量：11.0kg

●電　　力　AC100V 50/60Hz 58W　　圧切替時間：5分
●電気代目安　約1.5円/日(ひえ機能設定：なし／マット除圧動作：圧切替型安定重視)
約5.5円/日(ひえ機能設定：常時／マット除圧動作：圧切替型安定重視)

■圧切替型/静止型(切替え可能)
■自動体位変換機能
■リプレイスメントタイプ(ベースマットレス不要)
■マット・ポンプ3年保証

開発・製造元

※ 健康用品事業本部にて取得しています。

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京　札幌　仙台　名古屋　大阪　広島　福岡
製品他、各種お問い合せは
〒739-1794　広島市安佐北区口田南2-18-12
TEL.082-842-9975
FAX 0120-769-123
E-mail:health@molten.co.jp

2015.10